

＜法人の場合＞ (記入例)
指定給水装置工事事業者指定申請書

七宗町長 様

年 月 日

代表者印

申 請 者 氏名又は名称 カブシキガイシャ
〇〇株式会社
住所 ××郡〇〇町△△△
代表者氏名 水道 太郎
(TEL) (〇〇〇)△△△-××××



常時連絡できる電話番号
をご記入下さい。

水道法第16条の2第1項の規定による指定給水装置工事事業者の指定を受けたいので、同法第25条の2
第1項の規程に基づき次のとおり申請します。

役員(業務を執行する社員、取締役又はこれらに準ずる者)の氏名		
氏	リ	ガ 氏 名
代表取締役 取締役 取締役 監査役	スイドウ 水道 スイドウ 水道 スイドウ 水道 スイドウ 水道	タロウ 太郎 イチロウ 一郎 ゴロウ 吾郎 ハナコ 花子
		登記簿に記載の役員全 員をご記入下さい。 ※水道関係の項目は必要です。 登記簿・定款に記載のない場合は受 付できません。
事 業 の 範 囲	給水装置工事	
機械器具の名称、性能及び数		別表のとおり

(備考) この用紙の大きさは、A列4番とすること。

当該給水区域で給水装置工事の事業を行う事業所の名称	〇〇設備株式会社 〇〇町支店
上 記 事 業 所 の 所 在 地	××郡〇〇町△△△ Tel(〇〇〇)△△△-××××
上記事業所で選任されることとなる給水装置工事主任技術者の氏名	給水装置工事主任技術者免状の交付番号
スイドウ サプロウ 水道 三郎 スイドウ ヨシオ 水道 義雄	第〇〇〇〇〇〇号 第〇〇〇〇〇〇号

通常は、この申請書の表面の所在地等と同じ場合が多いです。

事業所が本社所在地と異なる場合や複数の場合は記入例のように記入してください。

当該給水区域で給水装置工事の事業を行う事業所の名称	
上 記 事 業 所 の 所 在 地	
上記事業所で選任されることとなる給水装置工事主任技術者の氏名	給水装置工事主任技術者免状の交付番号

(備考) この用紙の大きさは、A列4番とすること。

<個人の場合>
(記入例)

指定給水装置工事事業者指定申請書

七宗町長 様

年 月 日

申請者

氏名又は名称

住所

代表者氏名

(TEL)

ヒチソウスイドウ
七宗水道

××郡○○町△△△

水道 太郎

(○○○)△△△-×××××



代表者印

常時連絡できる電話番号をご記入下さい。

水道法第16条の2第1項の規定による指定給水装置工事事業者の指定を受けたいので、同法第25条の2第1項の規程に基づき次のとおり申請します。

役員(業務を執行する社員、取締役又はこれらに準ずる者)の氏名	
氏 名	氏 名
スィドウ タロウ 水道 太郎	
事業の範囲	給水装置工事
機械器具の名称, 性能及び数	別表のとおり

水道工事に関する事業を必ずご記入下さい。

(備考) この用紙の大きさは、A列4番とすること。

当該給水区域で給水装置工事の事業を行う事業所の名称	七宗水道
上 記 事 業 所 の 所 在 地	××郡○○町△△△
上記事業所で選任されることとなる給水装置工事主任技術者の氏名	給水装置工事主任技術者免状の交付番号
スドウ タロウ 水道 太郎	第○○○○○○号

当該給水区域で給水装置工事の事業を行う事業所の名称	
上 記 事 業 所 の 所 在 地	
上記事業所で選任されることとなる給水装置工事主任技術者の氏名	給水装置工事主任技術者免状の交付番号

(備考) この用紙の大きさは、A列4番とすること。

別表(第18条関係)

(記入例)

機 械 器 具 調 書

年 月 日 現在

種 別	名 称	型 式 性 能	数 量	備 考
管の切断用の 機械器具	金切りのこ	固定式鋸弦	2	
	○×パイプカッター	φ13～25C1	2	
	エンビカッター	φ13～25C2	2	
管の加工用の 機械器具	☆パイプねじ切り器	SS△×ーV	1	
	やすり	中目	5	
接合用の機械器具	パイプレンチ	△○△	3	
	トーチランプ	AB××ー1	2	
	モンキーレンチ	M50BC	2	
水圧テストポンプ	電動水圧テストポンプ	MMX・Tー50K2	1	
その他				

(注) 種別の欄には「管の切断用の機械器具」,「管の加工用の機械器具」,「接合用の機械器具」,
「水圧テストポンプ」の別を記入すること。

(備考) この用紙の大きさは, A列4番とすること。

誓 約 書

指定給水装置工事事業者申請者及びその役員は、
水道法第25条の3第1項第3号イからホまでの
いずれにも該当しない者であることを誓約します。

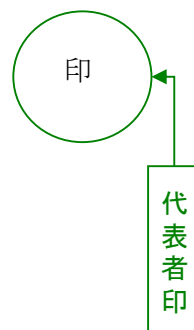
年 月 日

申請者

氏名又は名称 ○○株式会社

住 所 ××郡○○町△△△

代表者氏名 水道 太郎



七宗町長 様

(備考) この用紙の大きさは、A列4番とすること。

(記入例)

給水装置工事主任技術者選任・解任届出書

七宗町長 様

年 月 日

届出者 七宗水道株式会社
××郡○○町△△△ 印
代表取締役 ○○ △△△

水道法第25条の4の規定に基づき、次のとおり給水装置工事主任技術者の
選任
の届出をします。

解任 ← いずれか又は両方に○をつけ

給水区域内で給水装置工事の事業 を行う事業所の名称	七宗水道株式会社 上麻生支店	
上記事業書で選任・解任する給水 装置工事主任技術者の氏名（フリガナ）	給水装置工事主任技術者免状の 交付番号	選任・解任の年月日
(選任) シ 吾郎 西	53867	令和×年4月2日
(解任) ヤマト 和夫 大和	23456	令和×年3月20日
事業所で複数の給水装置工事 主任技術者を選任している場 合は、選任した者又は解任し		解任により給水装置工 事主任技術者が欠ける ときは、解任の日から

＊事業所が2ヶ所以上の場合は、届出書を各事業所1枚ずつ提出してください。
(届出者は本店となります。)

指定給水装置工事事業者 指定更新時確認書 (記入例)

指定申請書と同様の押印

法人:代表者印
個人:申請者印

氏名又は名称

カブシキ カイシャ
〇〇株式会社

印

郵便番号, 住所

〒〇〇〇-△△△△ ××郡〇〇町△△△

代表者氏名

水道 太郎

電話番号

(〇〇〇)△△△-××××

常時連絡できる電話番号をご記入下さい。

①提出先の水道事業者(水道事業者等の連携による広域開催も含む)が実施している指定給水装置工事事業者講習会の受講実績(過去5年以内)

受講年月日(受講を証明する書類(受講証等)の写しを添付してください。)(公表: ☒ 可 ☐ 不可)

令和 2 年 8 月 24 日 未受講

(未受講の場合, その理由)※非公表

未受講の理由を記入(非公開)

どちらかに○

②指定給水装置工事事業者の業務内容

休業日, 営業時間(修繕対応時間もご記入ください。)(公表: ☐ 可 ☐ 不可)

休業日: 日曜日, 祝日, 正月3が日, GWに連休

営業日及び時間: 月~土 8時~17時

修繕対応時間: 8時~17時 17時以降は要相談

夜間・休日等の修繕対応時間などを記入

どちらかに○

漏水等修繕対応の可否

(公表: ☐ 可 ☐ 不可)

(該当部に○をつけてください。詳細な内容を記入することも可能です。)

☒ 屋内給水装置の修繕

☒ 埋設部の修繕

その他(

漏水時の修繕対応の可否やその他欄を利用して夜間・休日等の対応について記入

どちらかに○

対応工事種別(新設・改造等)

(公表: ☐ 可 ☐ 不可)

(該当部に○をつけてください。)

配水管からの分岐 ~ 水道メーター (☒ 新設 ☐ 改造)

水道メーター ~ 宅内給水装置 (☒ 新設 ☐ 改造)

どちらかに○

その他

(公表: ☐ 可 ☐ 不可)

緊急連絡先 〇×〇-××××-〇〇〇〇(代表者携帯)

緊急時の連絡先などを記入

※ 公表には, ホームページ等への掲載を含みます。

※ 業務内容に変更が生じた場合は, 速やかに指定した水道事業者はその旨を届け出るようお願いします。

③給水装置工事主任技術者等の研修受講実績(過去5年以内)

水道法施行規則 第36条

法第25条の8に規定する厚生労働省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。(以下抜粋)

4 給水装置工事主任技術者及びその他の給水装置工事に従事する者の給水装置工事の施工技術の向上のために、研修の機会を確保するよう努めること。

受講者名(公表対象外)	研修会名, 実施団体	受講年月日
水道 太郎	給水工事振興財団 e-ラーニング	平成29年7月20日
水道 次郎	自社内研修 ○○に関する業務研修	平成29年7月23日
上記内容の公表の可否(公表には、ホームページ等への掲載を含みます。)(公表: 可 不可)		

e-ラーニングや研修会受講後に受け取った修了証や終了年月日が明示されたもの(主任技術者証)の写しを見て記入

自社内研修の場合は、申し出のみで可。別途証明書類や受講の事実を証明する必要なし。

どちらかに○

※ 外部研修については、受講を証明する書類(受講証等)の写しを添付してください。

※ 自社内研修については、研修内容を記載してください。

※ 受講者名は、公表の対象ではありません。

※ 行数が足りない場合は、必要に応じてコピー等してください。

④過去1年以内の給水装置工事に主に従事した適切に作業を行うことができる技能を有する者の状況

水道法施行規則 第36条

法第25条の8に規定する厚生労働省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。（以下抜粋）

- 2 配水管から分岐して給水管を設ける工事及び給水装置の配水管への取付口から水道メーターまでの工事を施工する場合において、当該配水管及び他の地下埋設物に変形、破損その他の異常を生じさせることがないよう適切に作業を行うことができる技能を有する者を従事させ、又はその者に当該工事に従事する他の者を実施に監督させること。

工事を施行しない場合は□にチェック✓を記入

□ 「配水管からの分岐～水道メーター」の工事を施行しないため

保有している資格を記入

技能を有する者の氏名 (公表対象外)	配水管への分水栓の取付・せん孔、給水管の接合、いずれの経験も有しているか (○×を記入)	資格等を有しているか(○×を記入)		工事年度
			保有している資格等 ※1	
水道 太郎	○	○	配管工	H30
水道 次郎	○	○	講習会修了者	H30
社員A	○	×		H30
	雇用関係又は下請け等も含み、給水装置工事に主に従事した者の氏名等を記入			

上記内容の公表の可否(公表には、ホームページ等への掲載を含みます。)(公表: 可 不可)

※1 以下に示す保有資格等(下線部)を記載してください。

- ①水道事業者等によって行われた試験や講習により、資格を与えられた配管工
(配管技能者、その他類似の名称のものを含む)

- ② 職業能力開発促進法(昭和44年法律第64号)第44条に規定する配管技能士

- ③ 職業能力開発促進法第24条に規定する都道府県の認定を受けた職業訓練校の配管科の課程修了者

- ④ 公益財団法人給水工事技術振興財団が実施する配管技能の習得に係る講習の課程修了者

(配管技能者講習会修了者、配管技能検定会合格者、配管技能者認定)

※ 資格を証明する書類(資格者等)の写しを添付してください。

※ 技能を有する者の氏名は、公表対象ではありません。

※ 行数が足りない場合は、必要に応じてコピー等してください。

どちらかに○